

# 令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	平野区
学 校 名	加美東小学校
学校長名	奥 雅裕

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

### (2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・加美東小学校では、第6学年74名

## 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科の平均正答率は65%で、全国平均（67.2%）と比較して2.2ポイント、大阪市の平均（67%）と比較して2ポイント下回っている。算数科の平均正答率は62%で、全国平均（62.5%）と比較して0.5ポイント下回っているが、大阪市の平均（62%）とは同率であった。

国語科の平均無回答率は3.7%で、全国平均（4.8%）と比較して1.1ポイント少なく、大阪市の平均（3.5%）と比較して0.2ポイント多かった。算数科の平均無回答率は3.4%で、全国平均（3.4%）とは同率で、大阪市の平均（3.1%）と比較して0.3ポイント多かった。

学校全体として落ち着いた学習環境となっており、また意欲的に学習活動に取り組む児童が多く、学力については、ここ数年で大阪市平均や全国平均に迫る上昇傾向や定着が見られるようになってきている。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

## 〔国語〕

「書くこと」の領域については、これまで他の領域と比べて大阪市平均、全国平均との差が大きく開いており、本校における課題であった。前年度は研究テーマとして「表現する力の向上」を掲げ、様々な教科を通して表現していく活動に重点を置いて取り組んできた。学習ノートのまとめ方や宿題などにも工夫を凝らし、新たな文章課題に向き合っていく活動を多く取り入れ、表現することの素晴らしさを実感できるようにしてきた。自分の考えの理由を明確にし、自分の言葉でまとめて書き、発表や交流の場を通じた学びの場面を多く設定し取り組みを進めてきた結果、本校の課題であった「書くこと」の領域において、大阪市平均と比較して5.5ポイント、全国平均と比較して3ポイント上回る結果となった。

## 〔算数〕

「数と計算」「図形」「変化と関係」の各領域については、正答率が大阪市平均や全国平均を上回る問題があったり下回る問題があったりと、それぞれの領域内においても学習単位によって得意な分野と苦手な分野があり、単元ごとの課題が明確となった。一方、「データの活用」の領域については、出題された全3問すべてにおいて正答率が大阪市平均や全国平均を下回る結果となり、前回調査に引き続き本校における算数科の課題であることが明らかとなった。分類整理された表やグラフの必要な部分を読み取り、目的に応じてデータの特徴を捉え考察する力が向上するよう、指導の充実を図っていく必要がある。

質問紙調査より

キャリア教育の推進に取り組んできた成果もあり、「将来の夢や目標を持っている」については、肯定的な回答が92.3%と高い結果で、大阪市平均の80%、全国平均の81.5%を大きく上回った。さらに「人の役に立つ人間になりたいと思う」については、最も肯定的な回答が76.9%と、こちらも大阪市平均の74%、全国平均の75.3%を上回る結果であった。また「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」についても、最も肯定的な回答が88.5%で、大阪市平均の81.2%、全国平均の82.6%よりも高い結果を示している。

キャリア教育の推進や学びに向かう適切な学習環境を整えるために実践してきた授業改革、そして互いを認め合う良質な関係づくりや学級集団作りに力を入れて取り組んできた結果が、学校全体としての落ち着きと子どもたち一人一人の心の安定に表れている。

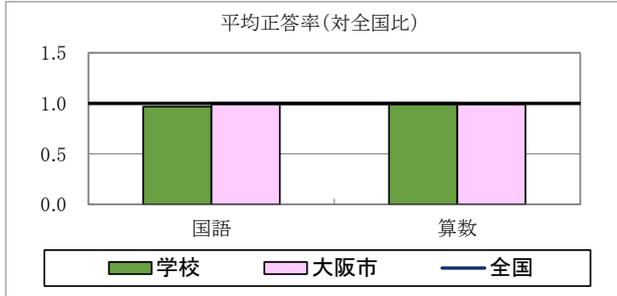
## 今後の取組(アクションプラン)

本校における課題及び学習指導要領の趣旨を踏まえ、主体的・対話的で深い学びを推進し、多様化する社会を生き抜く力を育成していくことを目指す。昨年度研究を進めてきた「自分の考えを表現する力」の更なる向上を目指して、今年度の研究主題を「知的好奇心を高める授業の探求～物語の読みを通して国語の楽しさを感じる授業づくり～」と設定し、国語の基礎的な力「語彙力」「漢字の力」「文章を書く力」「自分の意見を述べる力」を伸ばすための取り組みを、6年間のつながりを意識しながら継続的に行う。また、進んで学びに向かう力を育成するため、引き続き本物に触れる校外学習体験、トップアスリートや芸術家を招いての出前授業にも取り組んでいく。日々の授業においては、いかに「深い学び」につなげていくかを大切にわくわくする授業づくりを実践し、家庭とも連携しながらICTを効果的に活用する学習にも取り組んでいく。

## 【 全体の概要 】

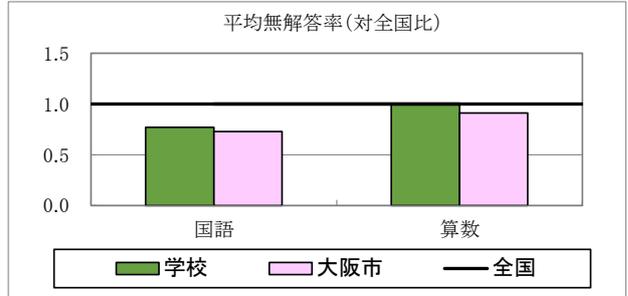
### 平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	65	62
大阪市	67	62
全国	67.2	62.5



### 平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	3.7	3.4
大阪市	3.5	3.1
全国	4.8	3.4



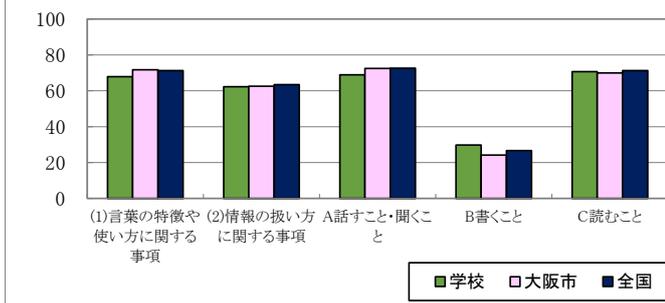
## 【 国語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	5	67.8	71.7	71.2
(2)情報の扱い方に関する事項	2	62.2	62.6	63.4
(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	3	68.9	72.4	72.6
B 書くこと	1	29.7	24.2	26.7
C 読むこと	3	70.7	69.9	71.2

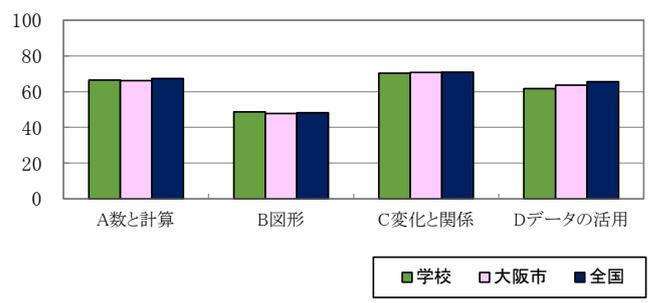
## 【 算数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	66.4	66.1	67.3
B 図形	4	48.6	47.8	48.2
C 測定	0			
C 変化と関係	4	70.3	70.8	70.9
D データの活用	3	61.7	63.6	65.5

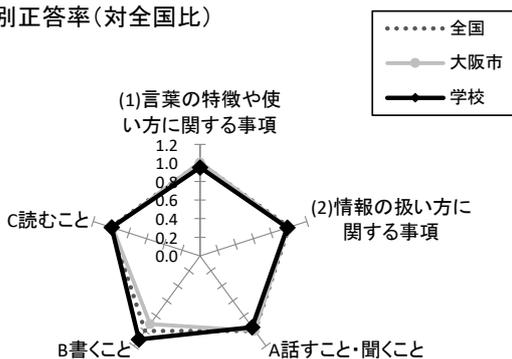
国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



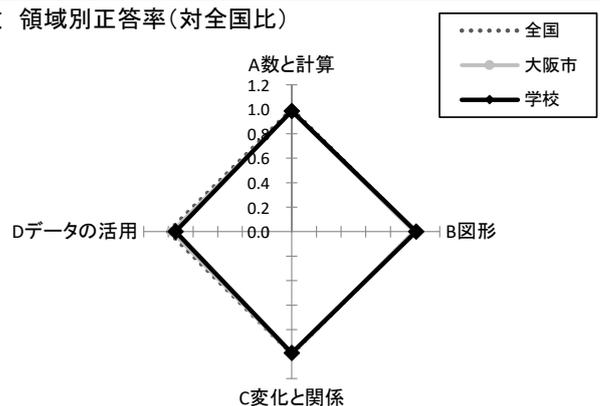
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)



算数 領域別正答率(対全国比)



# 児童質問紙より

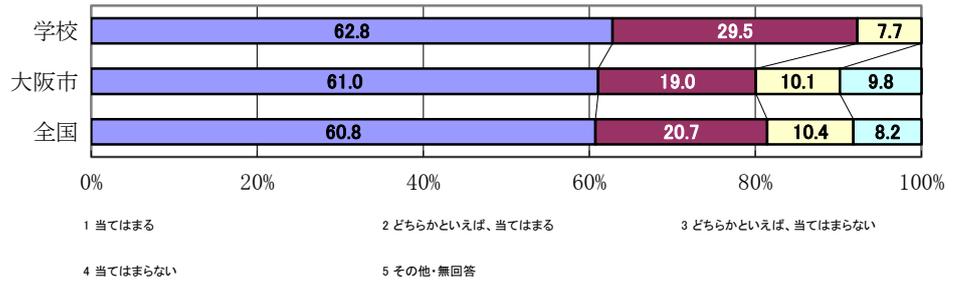
□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

質問番号

質問事項

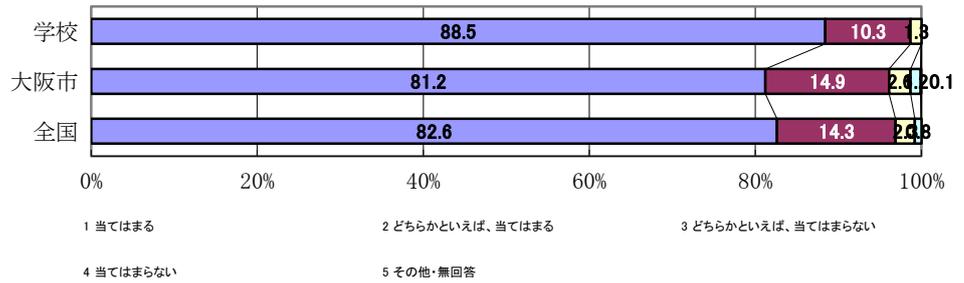
7

将来の夢や目標を持っている



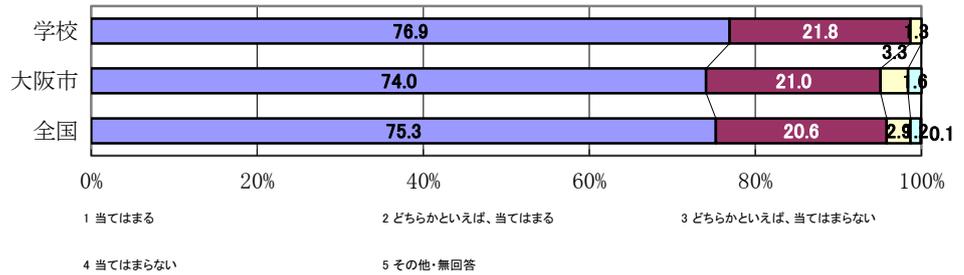
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う



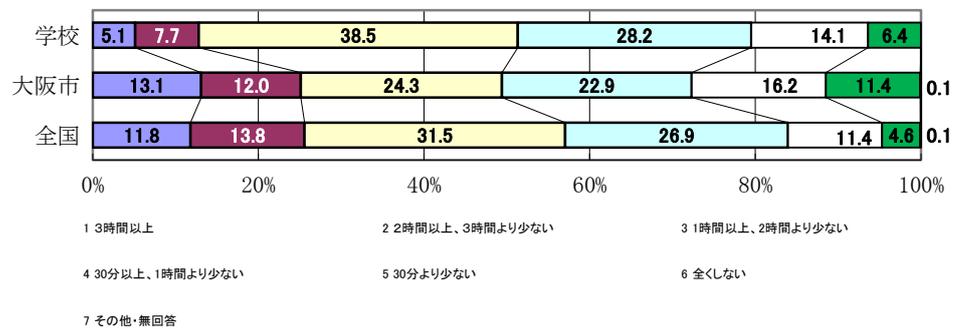
11

人の役に立つ人間になりたいと思う



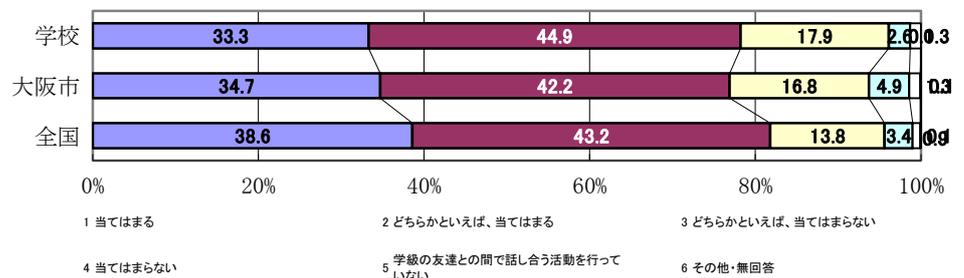
17

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます）



36

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか



# 学校質問紙より

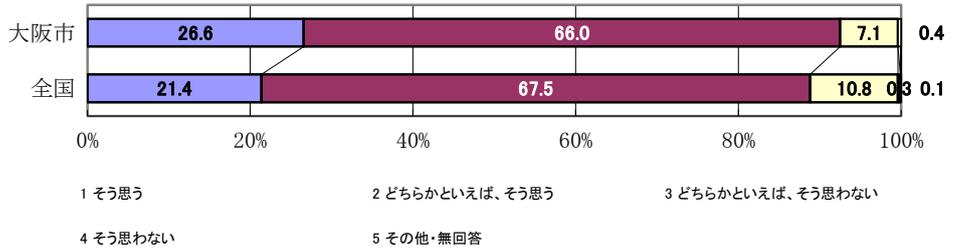
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

質問番号  
質問事項

26

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている

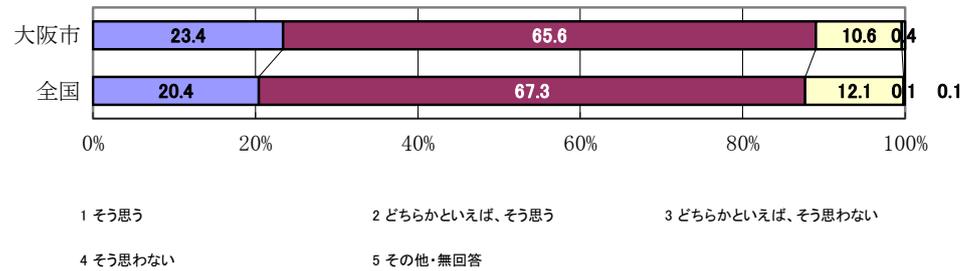
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



28

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができている

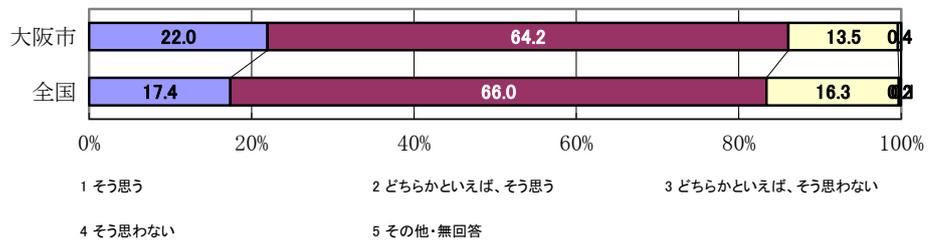
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



29

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる

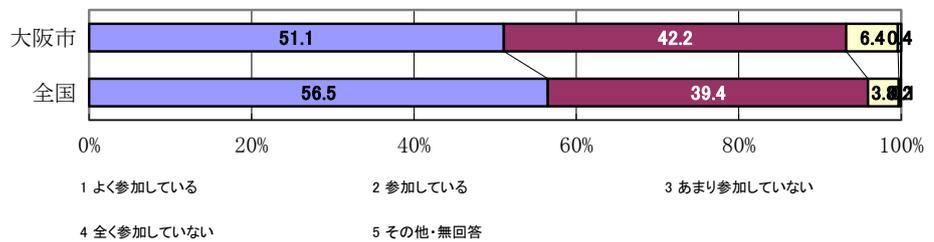
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



72

保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか

学校 「よく参加している」を選択



76

調査対象である第6学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

